



NPO 法人 つくば環境フォーラム

平成 29 年度 活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、地域の環境保全の実践・環境教育活動・行政等への提言活動を展開しています。平成 29 年度は以下の活動を行いました。

1. オオムラサキの棲む里山づくり（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 483 名

平成 14 年より、良好な里山の象徴としての国蝶オオムラサキが棲み続けられるよう、つくば市下平塚にて雑木林の保全・再生事業を展開しています。開発事業終了後に新たにできた市街地に隣接して、民有林と県有地合わせて約 21ha の里山の自然が残っています。民有地での活動を自主事業として、県有地での活動を茨城県からの委託事業として取り組んでいます。オオムラサキをはじめとする生物の多様性が保たれる里山の手入れを行い、子どもたちが身近な自然とふれあい学ぶ場として活用することをめざして、保全活動・体験活動を行いました。

・森づくりボランティア

民有林である保健保安林では平成 15 年より森づくりボランティアを継続しています。今年度も筑波学院大の学生が参加しました。夏の蝶や冬の越冬幼虫を皆で観察して、オオムラサキが森に定着したことを確認できました。10 回実施、のべ 137 名参加。活動開始より通算 141 回の活動となりました。



筑波学院大の学生と作業



企業ボランティアが参加(12月)



オオムラサキ♀

実施日	参加者数
6月22日	9名
7月17日	19名
8月19日	10名
8月23日	12名
8月30日	13名
11月25日	19名
12月16日	24名
1月20日	12名
2月24日	6名
3月24日	13名

・里山こどもワンダーランド作戦

親子自然体験プログラム「里山こどもワンダーランド探検隊」を開催し、森の手入れ体験、オオムラサキの越冬幼虫調査、植樹活動などを行いました。11 回実施、のべ 314 名参加。活動を支えたスタッフ・ボランティアのべ 32 名。



森の基地づくり



オオムラサキの越冬幼虫調査



森は子どもたちの遊び場

実施日	参加者数
4月29日	34名
6月18日	35名
7月23日	52名
9月10日	33名
11月12日	19名
11月26日	34名
12月17日	14名
1月21日	22名
2月25日	29名
3月11日	20名
3月25日	22名

2. 葛城大規模緑地利活用体制構築（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 1032 名

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）14ha は、自然環境を保全しつつ利活用することをめざして市民協働で整備中の里山です。この事業は、当 NPO と一般財団法人つくば都市交通センターの連合体に茨城県から委託されています。平成 27 年に「葛城里山クラブ」を設立して 3 年目、4/30 の春のネイチャーウォーク&里山クラブ交流会に 83 名が参加、森に親しみ、交流を深めました。また、毎月の自然観察会「里山散歩」を実施して（11 回のべ 248 名）、周辺住民に緑地の認知と協働活動への参加を促しました。また、実際の整備作業は養成した「葛城フォレスター」が有償で担い、草刈りや間伐作業を行った（総作業面積 26 万㎡、78 日間、のべ 499 名）他、「森のボランティア」には周辺住民が参加して行いました（8 回のべ 81 名）。3 月には植樹活動「里山を育てるマイツリー大作戦」に 121 名が参加しました。葛城里山クラブは登録者 431 名（うちフォレスター 34 名）で森を見守るファンが年々増えています。

今年度は、不法投棄ゴミの撤去作業や駐車スペースにもなる広場の整備、境界部の支障木伐採なども行いました。



春のネイチャーウォーク



森のボランティア（植樹の手入れ）



里山散歩(7月)



里山散歩（11月）



葛城フォレスト



枯木処理



チェーンソー手入れ講習



不法投棄ゴミの片付け



造成地に雑木林を再生させるための植樹（クヌギ・コナラ 240本を植樹）



隣接区会とヤマザクラ 50本を植樹



3. 筑波山ファンクラブ（環境教育推進事業） 参加者総計 のべ 144名

筑波山の豊かな自然を守り育てる人の輪を広げることを目指し、12回の観察会や調査活動を実施しました。メンバー登録制で、平成29年度の登録者は104名でした。毎回の報告をカラーの「筑波山便り」として発行し、ファンクラブメンバーに送付しています。

実施日	テーマ	参加者数
4月16日	裏筑波のカタクリと早春の植物	9名
5月7日	難台山・スズラン群生地	20名
6月4日	加波山・初夏の植物	13名
7月2日	筑波山・広根場林道の植物観察	9名
8月11日	筑波山・自然研究路の植物観察	10名
9月3日	朝日峠～雪入山の自然観察	15名
10月9日	筑波山・自然展とブナ結実調査	9名
11月19日	加波山・紅葉と晩秋の植物	10名
12月24日	つくし湖～薬王院 野鳥観察	13名
1月21日	茨城県自然博物館の菅生沼野焼き協力	8名
2月17日	筑波山麓を歩く	13名
3月25日	宝篋山・早春のスミレ	15名



5/7 ヤマツツジ満開の難台山頂



9/3 雪入山で植物観察

4. 筑波山における環境教育事業（環境教育推進事業）

・筑波山ビジターセンター事業

参加者総計 のべ 2103名

観光物産課と協働で平成25年度より実施。今年度は、4月15日～23日に筑波山山頂駅 2階を会場にカタクリなど春植物をテーマとして「筑波山ビジターセンター自然のひろば」を行いました。計9日間で、合わせて1049名の来場者がありました。「筑波山自然見どころマップ」春版を作成し、野外ブースで配布し、カタクリの解説を1008名に行い、大変好評を得ました。

この事業には、筑波山自然インストラクターのメンバーも参加・協力し、スタッフと合わせ、のべ46名が活動を支援しました。



カタクリの里入り口での解説



センター内の様子



カタクリの花模型



筑波山自然見どころマップ（表：イラストマップ、裏：自然解説）



・筑波山自然環境教育事業 参加者数計 のべ 145名

つくば市環境都市推進課より委託され、筑波山で自然環境を学ぶ4回の活動を実施しました。様々なコース、様々なテーマで筑波山の自然にアプローチしつくば市の自然環境について学んでいただきました。

実施日	テーマ	参加者数
4月23日（日）	筑波山の春植物を学ぶ カタクリの開花調査をしよう	35名
6月24日（土）	つくば市の里山を学ぶ 国蝶オオムラサキの棲む森とホタル舞う谷津田	42名
8月9日（水）	霞ヶ浦～桜川～筑波山水源の森へ	30名
2月25日（日）	筑波山山麓の湧水をめぐる	38名



筑波山でカタクリの開花状況調査



谷津田で草取り体験



霞ヶ浦の水質調査



水源の沢で水質調査



筑波山麓で湧水の観察

・自然ガイド活動 筑波山他 参加者合計 のべ 291名

筑波山や宝篋山麓などで自然についての解説を行い、環境保全への理解を進めるインタープリテーションを行いました。のべ 291名にガイドを実施し、活動を支えたスタッフ・ボランティアは、のべ 14名でした。

実施日	対応した学校・団体、場所、活動テーマ	参加者数
6月6日	茨城県立つくば特別支援学校中学1年生 筑波山つつじヶ丘：つくば市の特色・筑波山の自然	20名
6月7日	つくば市立小田小学校1・2年生 宝篋山麓 校外学習：春を探そう	34名
6月29日	つくば市荃崎第一小学校3年生 筑波山（御幸ヶ原と研究路）筑波山の生立ちと自然	133名
8月19日	結城青年会議所 筑波ふれあいの里 キャンプ活動での夏の自然体験	51名
10月26日	つくば市立小田小学校1・2年生 宝篋山麓 校外学習：秋を探そう	33名
11月6日	つくば市立古渡小学校 筑波山登山（おたつ石コース） 筑波山の自然	20名



特別支援学校



小田小学校

・筑波山の自然展 参加者合計 のべ 848名

ケーブルカー山頂駅2階で、10月3～9日の7日間、茨城県自然博物館・つくば市との共催で開催しました。筑波山の自然解説パネル、博物館の動物・昆虫の標本、キノコの模型などを展示しました。781名の来場があり、インストラクターのべ 30名が参加して展示解説や筑波山クイズ、ネイチャークラフト、野外ガイド（参加者 37名）などを実施しました。



5. しぜんっこくらぶ in ゆかりの森 (環境教育推進事業) 参加者総計 のべ 1069名

幼児とお母さんのための自然体験教室を豊里ゆかりの森で平成14年度より、毎年実施しています。今年も、親子で四季の移り変わりを感じ、自然へのまなざしを育てることをめざし、年間登録制で月に2クラス(水曜日及び金曜日クラス、各30組)計20回を実施しました。子どもだけでなく、お母さんたちにも新しい発見がいっぱい、お昼時間の交流タイムはお母さん同士の会話も弾んでいました。また、この活動では、以前の参加者である「しぜんっこ修了生」のお母さんがボランティアとして協力し、様々に活躍しています。ボランティア研修会も10回実施しました。また、12月、2月、3月に体験参加を募集し、各回3組程度の参加を受けつけ、次年度への活動へつなげることができました。イベントへの参加者総数はのべ1069名(体験参加含む)、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ183名でした。

水曜・金曜クラス	テーマ	参加者数
5月17日・19日	新緑の森へいこう!	119名
6月14日・16日	じゃがいも掘りと、とれたてじゃがいも料理	120名
7月5日・7日	夏の生きもの探検隊!~ザリガニ釣り体験	100名
9月6日・8日	生き物いっぱい!!つるん~とわらび餅づくり	95名
10月18日・20日	秋の森の宝さがし~お月見飾り	98名
11月15日・17日	♪森でフェスティバル&森のバザール♪	103名
12月6日・8日	☆森のクリスマス☆	112名
1月17日・19日	竹筒でごはん炊き・どんど焼き・焼きマシュマロ	105名
2月21日・23日	春の七草をさがそう!~七草がゆ	101名
3月7日・9日	春を見つけよう!~よもぎだんごづくり	116名



森の観察



じゃがいも掘り



ザリガニ釣り



竹筒の飯盒づくり



雨の日も楽しく観察

6. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森 (環境教育推進事業) 参加者総計 のべ 305名

つくば市農業課林務係に「高崎自然の森自然体験教室事業」の依頼を受け、平成21年度より、共催で高崎自然の森での自然体験プログラム「つくば里山楽しみ隊♪」を実施しています。里山の平地林が残っていることの価値や、里山は人が手入れし利用することで自然の豊かさが保たれてきたことを伝えています。冬の森の手入れ体験は、隣接する「おぐるくの森」の維持管理をしている「つくばフォレストクラブ」のメンバーの協力を得て実施、オブジェづくりでは、にれ工房の山崎氏に指導をお願いしました。毎回多数の申し込みがあり、リピーターの参加者も多い事業です。高崎自然の森の認知度もアップし、様々に活用されるようになってきています。イベントへの参加者はのべ305名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ57名でした。

実施日	テーマ	参加者数
5月14日	第1回:春の森たんけん+ピース・オブ・フォレスト(親子対象)	76名
7月27日	第2回:夏休み企画!森の生きものマップづくりI(小学生対象)	38名
8月2日	第3回:夏休み企画!森の生きものマップづくりII(小学生対象)	39名
11月3日	第4回:秋の森たんけん+落ち葉アート(親子対象)	71名
12月2日	第5回:森の手入れ体験+クリスマスオブジェづくり(親子対象)	81名



春の森たんけん



生きものマップづくり



落ち葉アート



森で間伐体験

7. 筑波山麓谷津田再生事業（環境の調査・研究・保全事業） 参加者総計 のべ 997 名

筑波山のふもと神郡にある自然豊かな谷津田を存続させるために始めた沢水を利用した米づくりは、今年で12年目になりました。ホタルやホトケドジョウなど絶滅危惧種が安定的にみられ、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てしています。0.8haの谷津田と周辺の里山林とのつながりが、豊かな自然を育てています。今年度は体験付きオーナに25組の親子登録があり、毎回の体験イベントに子どもたちの笑顔と歓声があふれました。

筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会を通して野村不動産株式会社と連携して実施している「かやぶきの里プロジェクト」で、田植え1回、稲刈り体験2回実施し、東京からのべ300名の参加者がありました。



田植え

・谷津田の米づくり 参加者計のべ 303 名

実施日	テーマ	参加者数
5月27日	田植え	61名
7月1日	ホタル観察会	91名
9月30日	稲刈り	77名
10月28日	収穫祭	74名



田んぼの楽校（イネの観察）



稲刈り集合写真



田井小の活動（草取り）

H28年は「米づくりボランティア」に12名が登録、イベント以外の作業日29日間にのべ82名の参加があり、無農薬で8枚の田んぼを維持しています。今年度も親子の学習活動「田んぼの楽校」を8回実施して130名の参加がありました。また、22名（37口）の支援者の皆さんに資金の協力をさせていただきました。

地元の田井小学校4年生13名が6月に授業の一環として田んぼの草取り体験と生きもの観察に来てくれました。また、㈱アレフ（びっくりドンキー）の社員研修を受け入れ、田植え、除草、稲刈りの年間3回の活動を田んぼで行いました（参加者のべ39名）。

谷津田再生事業を支えたスタッフ・ボランティアの数はのべ130名でした。

・「筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり」 参加者計 のべ 172 名

谷津田周辺の里山の雑木林で、森の若返りを図るための立ち木の伐採や下草刈りなどの手入れ、植樹作業をおこないました。「つくば薪クラブ」と連携して、里山整備で出た材を有効活用しています。

また積水化学工業㈱の若手社員の皆様のご参加や、親子参加プログラムの実施等、森の整備や植樹の体験を通して里山の大切さを若い世代につたえる活動をしています。今年度は9/2に開催された研究所の家族見学会において里山学習ブースを出展し、展示やエコバックづくりを行いました。

これらの活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ40名でした。



㈱積水化学工業の皆さん

実施日	テーマ	参加者数
6月5日	下草刈り	58名
10月1日	森の手入れ	8名
12月23日	雑木林の手入れとドラム缶窯でピザづくり	33名
2月3日	竹林の手入れと五平餅づくり	17名
3月10日	植樹活動	16名



つくば薪クラブが作った薪



薪づくり体験



研究所での里山学習ブース

8. 都市と農村を結ぶ「すそみ」の活動(連携促進事業)

・筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流を促進し、地域活性化を目指すことを目的に結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会に、参加しています。年2回発行される筑波山麓地域情報紙「すそみろく」編集委員会に参加し、「筑波山麓秋祭り」では「すそみ茶屋」を2日間(11/4~5)出店、農家の庭先コンサートなども行って、交流を深めました(参加者約80名)。



すそみ茶屋の庭先コンサート

9. 筑波山麓自然学校(環境教育推進事業) つくば市委託事業

参加者総計 547名

平成14年度から筑波ふれあいの里の主催事業である筑波山麓自然学校の企画運営を担当しています。この事業では、一般市民が筑波山麓の自然環境への理解を深め、将来へ向けての自然環境の保全・自然資源の有効活用と地域の活性化が進むことをめざしています。地域資源を活用して、家族みんなで楽しむ自然体験プログラム、小学生以上を対象として自然をじっくり学ぶ講座、里山のくらしや文化を学ぶ講座等を実施しました。筑波ふれあいの里の畑を利用した農体験や、調理体験も盛り込んだプログラムが好評です。今年度から、申込みの殺到する夏のイベントをハガキ申込みによる抽選としました。年間11回の講座を開講し参加者総数は547名、活動を支えたスタッフ・ボランティアはのべ98名でした。

○親子自然体験プログラム

実施日	テーマ	参加者数
6月19日	とれたてジャガイモで手作りランチ&初夏の自然散策	60名
7月16日	夏の虫・むし探検隊	52名
8月20日	沢の生きもの観察会	31名
11月26日	イモ掘り、さつまいものお菓子作り、森探検	54名
12月17日	焚き火とクリスマスクラフト	51名
3月18日	食べられる野草を探そう・ジャガイモ植え	49名



森探検で落ち葉めぐり

○夏の自然発見プログラム

実施日	テーマ	参加者数
7月29日	昆虫ナイトウォッチング	38名
8月27日	発見・たいけん・沢遊び	57名



沢遊び



水生昆虫スケッチ



昆虫ナイトウォッチング

○里山のくらしや文化を学ぶ講座

実施日	テーマ	参加者数
1月13日	もちつきとならせ餅	54名
1月28日	竹ご飯と竹工作	54名
2月11日	100キロのみそづくり	47名



ならせもち



竹の飯盒でご飯づくり



100キロのみそづくり

10. ニュースレター「TEF TEF (てふてふ)」の発行 (情報収集・発信事業)



「TEF TEF」をつくば環境フォーラムのオピニオン紙と位置づけ、テーマを設定して発行しています(発行部数 2000 部)。教育委員会の協力を得てつくば市内の小中学校にも配布し、教育活動の参考にいただいています。また、季節ごとの活動に関しては TEF News を発行し、活動の様子を会員・関係機関に知らせるほかホームページ上でも公開しています。

【平成 29 年度発行 ニュースレター「TEF TEF」】

40号	8月発行	都市の中の里山 「こんぶくろ池自然博物公園」「下田の杜」
41号	2月発行	まちの近くの里山を未来へつなぐヒント 人と里山の新しい関わりを求めて

TEF News Vol.22 2017年4月発行
TEF News Vol.23 2017年10月発行

11. その他

●環境に関わる活動の連携の促進事業

筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会
筑波山麓地域情報紙「すそみろく」編集委員会
関東 EPO パートナースミーティング 12/12
グリーン連合北関東地域交流会 2/4



グリーン連合北関東地域交流会

●情報発信事業

アースディつくば環境パネル展 4/21~4/29
筑波学院大オフ・キャンパス・プログラム合同説明会展示 4/24
つくば市環境フェスティバル 11/18 11/19
筑波山の自然紹介パネル 筑波山ケーブルカー山頂駅2階休憩所 通年

●環境の調査・研究・保全事業

「筑波山におけるブナの開花・結実調査」

東京農業大学の依頼を受け、5/2 ブナの開花状況、11/6~8 結実状況の調査を実施。4日間のべ15名が参加して、200本のサンプル木を調査(開花は山頂付近115本)。

「つくば市自然文化財基本調査」(つくば市委託事業)

つくば市文化財課の依頼を受け、つくば市内に残る巨樹等の自然文化財の調査を実施。今年度は大穂地区と桜側西側の筑波地区について、平成26年度に実施したアンケート調査や文献調査で得られた候補木や現地踏査で見つけた巨樹の調査を行い、108本の巨樹・古木の位置情報、周囲長、樹高、状態等を記録しました。



巨樹調査

●環境教育推進事業

筑波学院大学オフ・キャンパス・プログラム学生の受け入れ 6月~10月
筑波大学大学院自然保護寄附講座授業 10/16 11/13 12/11
香港 St Stephen's College Preparatory School の親子日本学習ツアー 3/30

●環境に配慮したまちづくりの研究・提言活動

つくば市文化財保護審議会 5/23 12/26
阿見町太陽光発電所残地里山林の保全における調査・提言 12/15



香港からの親子日本学習ツアー

【企業ボランティア等受け入れ】

株式会社アレフ 谷津田保全活動 5/24、7/5、10/3、11/29 のべ39人
積水化学工業 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり草刈作業 6/5 52名
関越商事株式会社 9名 森づくりボランティア活動 12/16



(株)アレフ 谷津田の草取り作業

【受賞・寄付】

筑波山ガマまつり環境保全寄付金贈呈式 2/14 7万円
その他、ブルデンシャル生命保険(株)、筑波観光鉄道(株)より寄付をいただきました。